

関西黄斑変性友の会 友の会ニュース

No.3

2017年1月15日

内容	ページ
第3回 定例会開催	1
ヘリオス 前田研究部長ご講演要旨	3
ニュース	9
セカンドオピニオン	10
みんなのページ	12
お知らせとお願い	14

第3回 定例会開催



講師の前田先生を囲んで記念写真

2016年12月8日、大阪市中心公会堂で第3回定例会を開催しました。この日で会員数も50名に達し、家族を含め30名以上の方が参加されました。

今回は、先進的な治療法の開発に興味があるとの会員の声を反映して、iPS細胞の実用化に取り組まれている株式会社ヘリオスの研究部長で眼科医でもある前田忠郎氏をお招きして講演していただきました。加齢黄斑変性について、iPS細胞から分化誘導して作成したRPE細胞を含んだ懸濁液により、より根本的な治療法の開発を進めているとの説明がありました。

(講演要旨は次ページ以降に掲載)

質疑応答も活発に行われ、会員の多くが実用化される日を待ち望んでいることがうかがわれました。

講演の終了後、場所を地下の喫茶店に移して、それぞれが悩みや体験を語り合い、会員同士の交流を深めました。



懇親会(地下喫茶店)

加齢黄斑変性の新しい治療 iPS細胞から作った再生医薬品の実用化に向けて ヘリオス神戸研究所の前田研究部長が講演

理化学研究所の高橋政代先生を中心に、iPS細胞から作った網膜色素上皮細胞を加齢黄斑変性の患者さんに移植する臨床研究が進んでいます。

(株)ヘリオスは、その理化学研究所から技術供与を受け、iPS細胞由来の網膜色素上皮細胞による再生医薬品の実用化を目指している会社です。本日は神戸研究所研究部長で元眼科医の前田忠郎先生に、同社の取り組みについて講演いただきました。以下にその内容をまとめました。

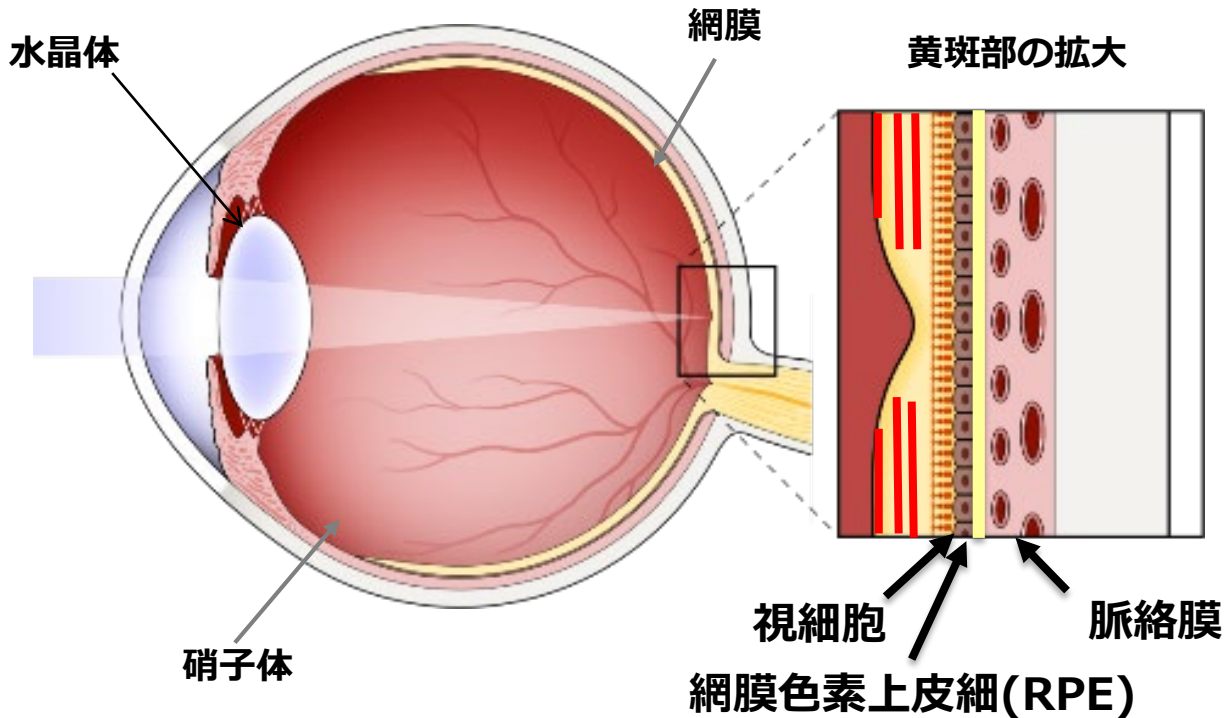


講演する前田先生

黄斑の仕組み

加齢黄斑変性は網膜の中心にある黄斑が障害され視力が低下する疾患です。黄斑は私たちがものを見るために大変重要な場所で、外から入った光を電気信号に変えて脳へ送る視細胞が集まっています。ところがここには視細胞が機能するために必要な栄養や酸素を届ける血管が通っていません。そのためにその奥にある網膜色素上皮から栄養や酸素を受け取っています。網膜色素上皮は視細胞が正常に機能するため非常に重要な組織です。(次のページ **図1** 参照)。

黄斑部の仕組み



Copyright © HEALIOS K.K. All rights reserved.

加齢黄斑変性とは？

加齢黄斑変性は加齢による様々なストレスが原因であると言われています。ストレスを受けると網膜色素上皮細胞が機能障害をおこし、網膜色素上皮とバリア膜に老廃物がたまって炎症がおきます。バリア膜は網膜色素上皮と脈絡膜との間にある膜で、新生血管を防ぐ機能を持っています。(図1参照。バリア膜は網膜色素上皮と脈絡膜の間の薄黄色の部分)

滲出型ではこのバリア膜が破れて免疫細胞が侵入し、炎症が悪化して新生血管が発生します。新生血管はもろくて破れやすい血管で、そこから血液が漏れ出て網膜色素上皮を障害します。現在ではこの新生血管の活動を抑えて血液の漏れを止める抗VEGF薬が治療の主流となっています。

萎縮型は網膜色素上皮がバリア膜より先に障害され、萎縮が拡大して視細胞が変性するもので、今のところ積極的な治療法はありません。

iPS細胞

京都大学の山中先生が発見したiPS細胞は本当にノーベル賞に値する画期的な細胞です。iPS細胞の大きな特徴は次の2つです。

1. 様々な細胞に変わる(受精卵のように)。
2. 半永久的に増える。

これらの特徴を生かし、高橋先生らはiPS細胞から作った網膜色素上皮細胞をシート状にして、1名の患者さんに移植しました。2015年10月の発表によると、1年後の経過観察ではシートは生着し、視力は維持され、最も心配された細胞のがん化はみられませんでした。この患者さんでは、もととなったiPS細胞は自分自身の細胞(自家細胞)から作られたものです。

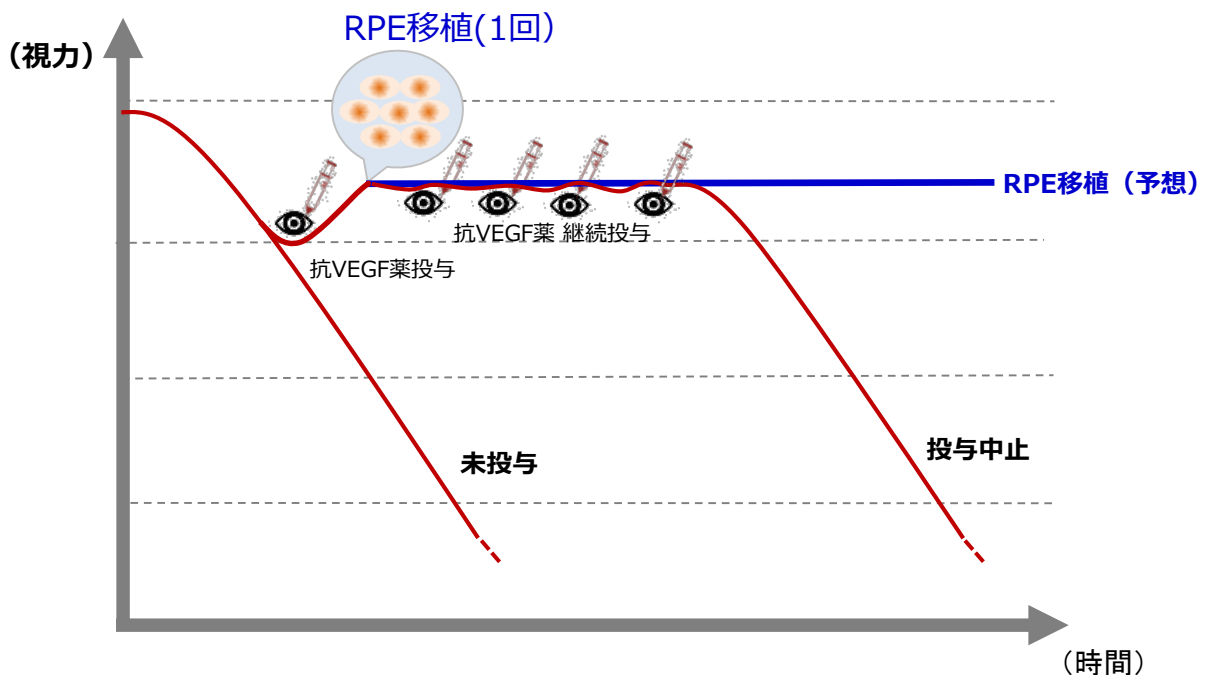
2016年6月にはこの臨床試験が再開されるという発表がありました。2017年に始まる新たな計画では、自家細胞に限定せず、コストを抑え時間を短縮するためにあらかじめ他人の細胞(他家細胞)から作っておいたiPS細胞の使用も検討されます。また網膜色素上細胞をシート状にすることに限定せず、手術のリスクが低い浮遊液(懸濁液)の使用も検討されます。

視力推移のイメージ

現在浸出型の治療の主流は新生血管の活動を抑える抗VEGF薬です。一般的に継続投与により視力は維持されますが、投与を中止すると低下します。一方網膜色素上皮細胞移植は、シート状であれ懸濁液であれ、iPS細胞から作った正常な網膜色素上皮細胞を移植して視細胞を安定させ機能復元を図ることから、1回の移植で長期間の視力維持が予想されます(図2参照)。

図2

早期治療を行うことで、より高い視力を維持できる



※本イメージはRPE移植の効果イメージを理解頂くことを目的としています。
抗VEGF薬投与による視力推移イメージは、各患者の症状や投与頻度等により上記と一律に同じではありません。

Copyright © HEALIOS K.K. All rights reserved.

ヘリオスの再生医薬品と開発スケジュール

ヘリオスが実用化に向けて現在開発を進めているのは、手術のリスクが少ない網膜色素上皮細胞が入った懸濁液で、動物での安全性確認を行っている段階です。安全性が確認されると、実際に患者さんに投与し効果を検証する臨床試験が始まります。開始は当初予定していた2017年より遅れる見込みですが、このような再生医薬品をなるべく早く患者さんに届けるために、安全性を担保しながらも開発プロセスを短縮しようという規制面での国の後押しがあります。今回の適応症は滲出型加齢黄斑変性です。



熱心に聞き入る会員の皆さん

Q 萎縮型も適応になるのか？

A 今回の適応は滲出型のみであるが、萎縮型にも外国では網膜色素上皮細胞の懸濁液の開発が始まっている。我々にも可能性検討の余地があると思う。

Q 網膜全体の回復の可能性は？

A 視細胞は大変デリケートな細胞で、一度障害を受けると元に戻りにくい。

Q 2017年に再開される高橋先生の臨床研究に参加するにはどうしたらよいか？

A 臨床研究に参加する施設から参加基準も含めて募集の発表があると思う。受診している医師に聞いてみるのもよい。

安全性と有効性が確認され、一日も早く私たちの治療に実際使われるよう、おおいに期待したいと思います。前田先生、ありがとうございました。

臨床研究について

これまでお寄せいただいた体験談やアンケート、定例会の参加者から、iPS細胞臨床研究に患者として参加したいという方がいます。臨床研究を実施する神戸市立医療センター中央市民病院と大阪大学医学部附属病院は、現在厚生労働省の認可待ちの状態です。認可された時、参加条件や手続きなどは公表するとのことです。わかり次第、お知らせします。

このうち、神戸の中央市民病院は公表前でも、かかりつけ医の紹介状を受け付けるとのことです。

対外活動のニュース

バイエル薬品の「目のかがく教室」

8月1日大阪あべのハルカスで開かれたバイエル薬品主催の「見たい！知りたい！目のかがく教室」に参加しました。医療関係のマスメディアに体験談を話す機会があり、加齢黄斑変性について早期発見、早期治療の大切さを訴えました。地方新聞に掲載されました。

京都新聞

iPS細胞が作られて、今年で10年になった節目の年に、京都新聞社が特集記事を組みました。患者として取材を受け感想や希望を述べました。10月9日朝刊に掲載されました。

イギリスの医療コンサルティング会社

12月5日、イギリスの医療関係のコンサルティング会社からインタビューを受けました。異変を感じたときの物の見え方、病院の選び方、抗VEGF薬の注射、治療経過などについて質問を受けました。

セカンドオピニオン

- 今まで聞いたこともない病気や難病に罹ると、誰しも今受けている治療法でいいのかと不安になることがある。先生の言葉足らずや一寸した不用意な言葉に接するとなおさらである。尤も、こうした先生の言葉使いは、患者の側の感情的な態度に影響している側面があるかもしれない。コミュニケーションには双方に問題がある。
 - いずれにしても、患者にとっては信頼できる医師の下で安心して治療を受けるのが望ましいが、そのような医師を探すのは容易なことではない。このような治療に対する不安を解消する方法の一つがセカンドオピニオンである。
 - 6年前、妻が大阪の大学病院で血液癌の一つである骨髄異形成症候群と診断された。満室のため自宅近くの市民病院に入院することになった。担当の先生は無神経にも「一年後の生存率」を口にした。そして、抗ガン剤治療を行うという。この治療法で本当にいいのかと思い、セカンドオピニオンをとることにした。
 - 問題は、どの病院どのような医師の意見を聞くかである。インターネットで治療実績の多い病院を検索した。その中から京阪神に限定せず、名古屋から岡山まで範囲を広げた。病状の進み具合で三回、それぞれ二人の先生、合計六人の先生から意見を聞いた。
 - 結果は、どの先生も特に異なる治療法を示すことはなかった。それでも病院によっては、一人の先生だけで判断せず、他の医師と協議して丁寧な説明書を書いてくれるところがあった。また、他の病院の知り合いの医師にその場で電話してくれる先生もいた。そうしたなかで、神戸の病院の先生は人柄もよく信頼できると判断した。
- の

- で転院することにした。おかげさまで、この先生の下で治療を受けた結果、生存率20%になるといわれた一年どころか、さらに半年も長く生きることが出来た。この先生の医療技術もさることながら、安心して療養生活を送ることが出来たからだと思っている。
- セカンドオピニオンは病気の診断が正しいか否かを聞くためではない。その治療法が妥当かを聞くものである。癌のような病気であれば、手術か放射線投射かを選ぶことが出来る。
- しかし加齢黄斑変性の場合は、治療法は限定されている。選択肢が多いわけではない。違った治療法を示される可能性は少ないと思う。とはいえ、今まで抗VEGF薬の注射をしてきたのに、これからは必要ないなどといわれることもある。すると、何もしなければ悪化して最悪の場合は失明するのではないかと不安になる。
- 安心するためにセカンドオピニオンをとる価値はある。まず、病院を探すことから始まる。私であれば、やはり妻の時にしたようにインターネットで治療実績の多い病院を調べる。他に、製薬会社のホームページの病院検索を利用する。どちらも共通する病院が並んでいるので、その中から病院を選ぶことになる。
- セカンドオピニオンは患者のための制度である。今雇っている先生の恩義に反するのではないかと心配する必要はない。手続きは、病院の「地域医療センター」というような名称の患者相談窓口が教えてくれる。

（高田 忍）



みんなのページ

(アンケートから抜粋)

私はこんなことをしています

目の具合が悪い時は庭仕事をする。散歩をすると具合が和らぎます。

「黄斑変性・浮腫で失明しないために」(平松類著・時事通信社)この本がとても参考になります。(76歳女性)

字が書けなくなり漢字を忘れていくので、不格好な字でもハガキを出す。(85歳男性)

昨年、拡大鏡等を使用しながら勉強して、ある国家資格を取りました。(46歳女性)

TV、読書が好きだったので、見る、読む回数を減らしレコード、ラジオを聞くようにしています。(82歳男性)

運転免許を返納しました。返納証明を提示するとバス賃半額になります。(70歳女性)

黒いマジックで太く書いてもらう。

赤や青の濃い色のシールをトイレのリモコンや電話の表示に貼る。(87歳女性)

励ましの声

お金のかかることですが、会費を高くしてもよい。会報をたびたび出していただいで、新しい治療法などを教えてください。(89歳男性)

お世話してくださる方に色々大変なのに感謝しています。今までもこの病気のこと、色々な知識を得ることが出来て、友の会に入会して良かったと思っています。これからもよろしくお願いします。友の会がズーと続くことを願っています。(71歳女性)

講師の先生や会員諸氏の体験を聞き大変勉強になりました。治療後、眼の手入れもせず日常を過ごしていたことも知りました。たとえ、回復しないにしても、これ以上悪くならないような生活習慣を会の中から取り入れたい。(85歳男性)

「友の会」のお世話くださいますことに感謝いたします。私はパソコンとかできませんので、お便りで新しい情報をお願いしたいです。「友の会」がずっと続きますように。(76歳女性)

高齢故、全快はあきらめるとして残された人生に失明という心配がないよう祈ります。いつも暖かいお知らせ感謝いたします。どんなに心強いことでしょう。乱筆お許しください。今後ともよろしくお願いします。(86歳女性)

お知らせ

関西黄斑変性のホームページを開設しました。定例会の内容、会員皆さんの体験談や最新の医療関係ニュースを掲載しています。

<http://www.amdkansai.org/>からご覧いただけます。

事務局からのお願い

会員募集のポスター掲示

会員募集のポスター掲示を大阪府、京都府、兵庫県内の主な病院を訪ね依頼しています。一人でも多くの患者に入会いただけるよう今後も活動を続けます。

皆さんが治療を受けている病院や自宅近くの病院に掲示をお願いしていただける方は、高田までご連絡ください。

体験談とアンケート

昨年秋より、会員相互の交流を目的とした体験談の募集をしています。まだ投稿していただいていない方はできるだけ早くお願いいたします。会員の皆さんに配布するほか、ホームページに掲載します。

文字を書くのに苦勞する方は電話ください。口述筆記いたします。

アンケートの回答もよろしくお願いいたします。

黄斑変性の患者会

会員募集中

関西黄斑変性友の会

「関西黄斑変性友の会」は黄斑変性の患者会です。情報の共有や会員同士の交流を通じて、黄斑変性をよく理解し上手に付き合っていく方法をみんなで学ぶ会です。

詳しくは下記までお問い合わせください

代表世話人 高田 忍 090-6905-0872

事務局長 星野龍一

〒544-0005 大阪市生野区中川2-7-19

06-6756-8585 090-1142-2377

(電話は10時～17時)

ホームページ

<http://www.amdkansai.org/>